



11月にしたこと

11月に入るとぐっと冷え込み、後半には薄暗い日が続き 4 時には日が沈み真っ暗になるという冬の始まりを感じた。授業では様々な素材を使用したドローイング、3D デザインソフトの演習、大物の粘土成形の講義を受け、最終的な自身のプロジェクトの決定に向けたトレーニングをする一ヶ月だった。

また 11/30 にコペンハーゲンで開かれる学生によるクリスマスマーケットにて販売するものを制作していた。

- 11/1～ ドローイング演習
- 11/10～ 粘土成形の講義
- 11/17～ 3D デザインソフトの演習
- 11/24～ 個人制作
- 11/30 クリスマスマーケット (Copenhagen)



イルミネーションが灯される



雪が少し降る

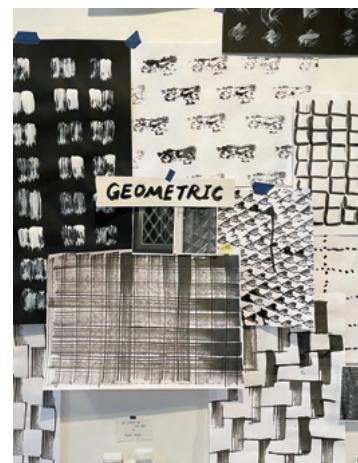
大学での活動

◎ドローイング演習、発表

黒や白のインク、ブラシや自分で収集してきた素材を使って大きな紙に一人30~40枚ほどのドローイングをする。パターンやリズム、素材の味などを生かしたドローイングをカテゴリーに分けて自身の惹かれる模様や雰囲気などを分析し発表する。

自分が普段何に惹かれるのか、なぜ惹かれるのかを分析するトレーニングになった。

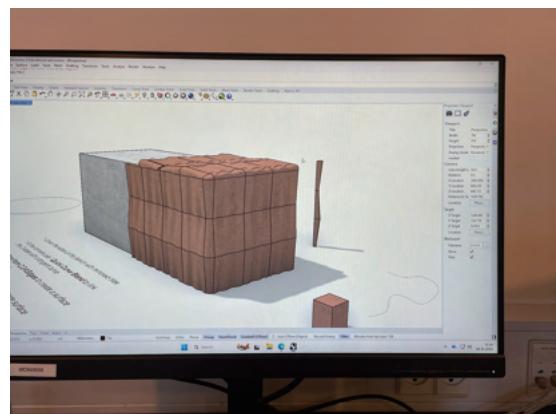
周りの仲間がどのような考えを持っているのかとても興味深く、教室をうろうろ見て回るのが楽しかった。



◎3Dデザイン、大物粘土成形の講義を受ける

- ・3Dデザインソフト
→ Rhino、CNC
- ・粘土成形
→ たたら成形 Slab building
→ 手捻り Coiling, Pinching

Fusion365は使ったことがあったが、Rhinoは初めてで、基本的な使い方を学んだ。扱ってみて興味深く勉強になったが、自分には実際に手を使ったモデル作りが合っているなど再確認するきっかけになった。



◎薪窯に参加する



学校の敷地内に3つ小ぶりな薪窯用の窯があり、年に5回ほど窯焚きがされる。一日かけて1200°になるまで何人かで交代しながら火に薪を焚べ、じっくり温度を上げていく。

窯の大きさが非常に小さいため、私はこの島に来てまだもない頃に作った花瓶を二つだけ入れた。素焼きの状態でとても気に入っていたため、結果がどうなるか予想しづらい薪窯に入れるのは一か八かであったがこれ以上ないくらいに良い風合いに焼き上がり、大切な作品の一つになった。

クリスマスマーケット in Copenhagen



コペンハーゲンの本校舎で開催される学生によるクリスマスマーケットに参加する。

朝6:30のフェリーに乗って一緒に販売する仲間とともに車で向かい、1日だけの滞在だったため終わったらその日のうちに島に戻るという長くもあっという間の1日だった。現地では日本語が上手なデンマークの方に会ったり、自身の制作したものを購入してもらったり様々な出会いと交流があった。



会場は3ホールほどあり、デザインや陶器、ガラスの学生が制作したものが所狭しと並ぶ。会場はとても賑わっており、私も時々席を外し展示や販売されているものを見て周った。皆MobilePayで支払いをするため現金はほとんど見かけず。「日本の方ですか？」と聞かれて頷くと日本語で嬉しそうに話し始めたデンマークの方がいて、とても嬉しかったことが印象に残っている。

私は写真のキャンドルホルダーとして作った小さなゴブレットとスープカップ、小皿などを販売した。ディスプレイ用に編んだ小さなニット靴下を売ってないのかと聞かれることが多く、そちらも気に入ってくれて嬉しかった。もっと編んで販売しても良かったかも…

◎島に来て3ヶ月

ボーンホルム島に来てから3ヶ月が経つ。ここまでがとても長く感じているが、残りがあと2ヶ月しかないことにも驚いている。全てのものが新鮮で記録するにも追いつかず何か取りこぼしていることがたくさんあるような気がして焦ることもあるけれど、自分が感じたことを忘れないでいたい。最近は耳が慣れてきて英語の会話が聞き取れてきたため、次のステップは会話に混じって話すことなのだが、それがなかなか難しく今後の成長に期待したい。



釉薬がかけられる前の素焼きのもの